



「帯を織る職人」

鈴木博（習作）

【切り絵】

切り絵の形式には黒い線でつながっている事が伝承されて来ました。1枚のベルクール（紙）をデザインカッターだけを使って「黒い線」を大切にする芸術です。この作品は帯を織る職人さんの表情がうまく表現できるように製作しました。直線を切る時でも定規を使ったりはしないので難しかったですが、納得いくものに仕上がったと思います。

図【切り絵の会】

鈴木 ☎ 049-259-0536



「現使用中の茶器」

門倉隆

【水彩画】

自宅にある自作したお盆に乗っている茶器を描いた作品。光の当たり具合の表現に気を配っています。

難しく考えずに気楽に描きました。

図【三芳絵画クラブ】

萩原 ☎ 090-4924-7989



「秋の花束」

武田玲子

【フラワーアレンジメント】

フラワーアレンジメントは生花を吸水スポンジに挿して製作する芸術で、個人で個性が出やすいところが奥深いです。この作品は、カーネーションや洋菊、秋の花のケイトウやワレモコウを使っています。これらに色づいた葉物や実物、枝物が合わさって秋のハーモニーを奏するような作品になるように製作しました。

図【フラワーサークル フローラ】

峰島 ☎ 080-1206-2580



「花火」

折り紙サークル「鶴」

【折り紙 貼り絵】

8枚の同じ折り紙を組み合わせた一輪の花火を9つ配置して華やかな夏の夜空の一幕を表現。各パーツを会員一人ひとりで折って作ったので思い入れがある作品です。

花火の華やかさを出すために、使用する紙の色や種類を決めるのに苦慮しましたが楽しさもありましたね。

図【折り紙サークル「鶴」】

天川 ☎ 049-258-3009

紙面で触れる 芸術文化

町内で活動する芸術文化のサークルの作品を紹介し、紙面での鑑賞から「芸術文化の秋」を始め、始めてみてはいかがでしょうか。



「マガジンラック」

小谷敏重

【籐工芸】

籐工芸は水につけて柔らかくしたヤシ科の植物「籐（とう）」を編み上げて作ります。様々な太さ、材質がありますが、この作品は2種類の太さ、2種類の材質の籐を編み上げています。曲線のある作品なので形のバランスに気を配りました。

図【籐工芸の会】

四宮 ☎ 049-258-9345



「松竹梅吹き寄せ」

一色玲子

【藍型染】

風に寄せられたように「松」「竹」「梅」を全体に散らした柄の作品です。1年を通していつでも身に着けられるように四季の植物の柄が入っています。松ひとつをとっても「松葉」や「若松」、「老松」など多彩な表現があるのが面白いと思います。

染型の白く表現する部分に糊を置いて染めます。糊が溶けないように、かついい色が出るように染めるのが難しく、奥深いところでもありますね。

図【きりくる】 一色 ☎ 049-258-5971

